

教育委員による県内の小中学校訪問について

1. 小学校訪問について

- (1) 訪問先 四日市市立大谷台小学校
- (2) 日時 平成27年6月17日(水) 10:15~12:00
- (3) 特徴・特色

国語教育の先進的実践校である。

①授業改善の取組

「論理的思考力を育成する授業の創造～思考の場を設定した授業づくり～」という研修主題で、国語科(説明文)の授業研究を推進し、授業改善に取り組んでいる。

思考の場を設定した授業改善のための重点取組として、「用語指導」「教材研究」「評価読みの視点を取り入れた授業づくり」「他教科・教育活動との関連」の4点を実践している。

②校長のリーダーシップ

学校全体で6年間を見通した明確なねらいを持って、授業研究、授業改善に取り組んでいる。

研究の方向性や具体的な方策が明確に示されているため、教職員が一丸となって、学力の向上を目指し「論理的思考力を育成する授業の創造」に取り組み、日常の授業での子どもたちの姿に、その成果が表れてきている。

③その他

平成22年度の学調の結果分析から明らかになった課題を、5年間にわたり研究したところ、年々成果がみられるようになっている。

自主的に毎年研究発表会を行い、市内外に研究の成果を発信し、教育活動の質的向上に努めている。

教職員の三分の一を20代職員が占めているが、丁寧な取組で若手育成に注力しており、教員が生き生きとしている。

視察されることが教員の励みになっている。

2. 中学校訪問について

- (1) 訪問先 多気町立勢和中学校
- (2) 日時 平成27年6月18日(木) 10:25~12:35
- (3) 特徴・特色

学力向上部会を設置し、学年別の弱み克服のための取組を推進している。

①授業改善の取組

授業の基本形である「課題の提示」と「振り返る活動」を全教科で行って

いる。

授業規律（チャイム着席、授業のあいさつ、発表や説明の聴き方、ノートやプリントのまとめ方など）の徹底を図っている。

全国学力・学習状況調査結果をもとに強み・弱みを明らかにし、弱みを克服するための授業形態の見直しや授業方法の工夫を行っている。

校内組織に学力向上部会を設置し、各学年別の弱み克服のための取組を推進している。

②校長のリーダーシップ

学力向上の取組の方向を全教職員で共有し、授業研究、日常的な授業公開を行っている。

③3点セットの活用

全国学力・学習状況調査結果を自校で分析し、授業改善に生かしている。学習内容に合ったワークシートを授業や家庭学習等で活用している。

④その他

○家庭・地域との連携の強化

1、2年生は自主勉強ノート、3年生は進路教材の活用を行い、家庭学習の定着を図っている。

地域人材の活用（授業サポート・教育環境整備等）、地域コーディネーターの発掘など具体的なコミュニティ・スクールの研究を推進している。

○指導力を高める研修の推進

教科ペアを中心とした、授業実践の交流と課題の共有化、改善策の検討など、話し合いの活性化を図っている。